

悠々自適

題字 悠々自適 揮毫 四国中央教育会OB 大西 典彦 解説は3面



発行所
（公財）愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 松山市立久米中学校
- (3) ふるさとに生きる(新居浜)
- (4) (5) 特集「旅・たび」
- (6) 日連教愛媛大会印象記1
- (7) 日連教愛媛大会印象記2
ローカルトピックス
- (8) 日連教愛媛大会記念講演要旨
ふるさとスケッチ

アオザメの顎



愛媛県総合科学博物館
学芸員 大西 剛

小学生の頃から視力が低かった私は、当時としては珍しいメガネっ子でした。銀天街にあった某眼鏡屋さんで作ってもらった私を花園町にあったペット店などに連れて行き、ぐずる私のご機嫌を取ってくれました。その先の堀之内にあった愛媛県立博物館は、生き物の標本展示が無料ということで、必ず連れて行ってもらえる施設でした。

珍しい動物や昆虫の実物に、私はいつも夢中でした。中でも古めかしいケースの上のほうに飾られていたのが、アオザメの顎の標本でした。流線型でかっこいいサメが大好きで、図鑑の絵を半紙に模写するなどしていた私に強烈なインパクトを与えたのが映画「ジョーズ」でした。何も知らない幼稚園児の私は、ギャン泣きしていたそうです。ただ、サメへの憧れはやまず、実物を何とか見てみたいと思っていた時に、ホホジロザメより

は小さいけれど、鋭い歯が並んだアオザメに私は魅了され、以降、博物館に行くといつも5階に駆け上がり、アオザメの顎をじっと見ていました。

大学に入ってからもサメに対する憧れは続き、ダイビング部に入った私は小笠原、西表、社会人になってからはモルジブ、パラオといろいろな海に潜りました。その後、縁あって愛媛県総合科学博物館に就職しました。更に訪れたアマゾンやアフリカの生き物、そして世界の昆虫を展示した時に、生き物が好きな子どもたちが生き生きとした目で「これ知ってるよ!」と話しかけてくれたことが、生気ながらもうれしくて、昔の自分を思い出してしまいました。

その後、愛媛県立博物館は当館と統合し、二ホンカワウソをはじめとする貴重な資料が移管されました。憧れだったアオザメの顎を、学芸員になって展示することになるとは夢にも思いませんでした。そして、展示棟に行くたびに、この大好きだった標本が実物資料を後世に引き継いでいくことの大切さを私に教えてくれています。

一略 歴一
(おおにし・つよし)

平成5年 愛媛県総合科学博物館開設準備室採用
平成6年 愛媛県総合科学博物館開館
平成19年 愛媛県教育委員会生涯学習課勤務
平成22年 現職

聞 ぶきょう 響 んう

秋といえれば様々なドラマが生まれる学校行事▼40年程前、私は中学校で生徒会担当。全職員が子どもたちのあふれるパワーを特別活動の力で良い方向に向けようと尽力。文化祭の器楽合奏コンクール。各学級は時間、場所を工夫して練習。学年大会で優勝。しかし、全校大会優勝は同じ学年大会2位の学級。その夜、子どもたちへの思いをカセットテープに録音。翌朝、副担任の授業で流してもらった。帰りの学活、全員泣きながら私に手渡した。メッセーじカード。その中の「私たちには心のトロフィーがある」の言葉から一人一人が支え合うトロフィーを描いて掲▼5年程前、子どもたちによる私の退職祝宴。盛り上がった思い出話は、ほぼ特別活動に関する話。それぞれ生きる力につながっているだろう▼学校行事に関する昨年末のテレビ番組の報道。東京都内公立校300の9割がコロナ禍前と比べ、学校行事を削減と回答。背景は働き方改革や学ぶべき内容の増加等。文科省視学官は「安易な削減はいけない。次代を生きる子どもたちの大事な資質能力を育むのは、各教科だけではなく、特別活動のように実生活や実社会で活用できる汎用的な力が絶対に必要だと思ふ」と論じた▼メッセーじカードを読み返し、改めて特別活動の力、今後の果たすべき役割に思いを巡らせた。

ひとこと

気候変動対策と

ラジオ体操



愛媛県公立小中学校事務長会 会長 若下仁三夫

今年の夏は、昨年にも増して異常？な暑さでした。いや、異常なものでしょうか？

アントニオ・グテレス 国連事務総長は、「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来したのです。」また、「異常気象は、ニューノーマル（新常态）になりつつあります。」とも言っています。

生活を脅かすような自然環境の影響を今後長く受け

るのは、子どもたちです。学校では、いつも子どもたちのために、子ども一番と言っています。この問題に対しての対応はどうできるのか？積極的な教育や

ようか？もちろん学校だけが対応すべき問題ではありませんが、私は次のように感じています。

昭和生まれと平成生まれとで音楽に合わせてうまくラジオ体操ができるのは、昭和生まれと感じています。昭和の時代は、学校教育の中でラジオ体操をすることが多く、子どもたちの身に染みつき、今でもそれが続いているということだと思います。そのことを考えた場合、気候変動対策に対しても、未来に向けて多くの学校が対応することで、今後起こりうる最悪の危機を回避することも可能になると考えます。アントニオ・グテレス国連事務総長は、次のようにも言っています。

「誰かが先に動くのを待つのは、もうやめましょう。そんな時間は、もうありません。」世界全体の気温上昇を1.5℃に抑え、気候変動の最悪の事態を回避することは、まだ可能です。」

(宇和島市立城北中学校事務長)

学校紹介

No.252

松山市立久米中学校

勤勉 親切

松山市立久米中学校は、松山市中心部から南東約5キロメートルに位置し、北は緑に映える芝ヶ峠、南は内川の水量豊かな清流、東は霊峰石鎚の雄大な自然、西は星岡のなだらかな丘陵地帯に抱かれた、風光明媚な場所にあります。近くには、来住廃寺跡に見られるように、太古の昔から文化が栄え、古墳をはじめ、神社・仏閣・遺跡など、貴重な歴史と輝かしい伝統が息づいています。このような



地域にある本校は、今年創立78年目を迎え、26クラス855名の生徒が在籍する四国最大規模の中学校となつています。生徒は、明るく何事にも真面目に取り組む、落ち着いた学校生活を送っています。校訓「勤勉 親切」の

もと、勉学、学校行事、部活動等に積極的に励んでいます。大規模校には、多様な人と関わり、切磋琢磨できるという強みがある一方、個が集団に埋没しやすいという一面もあります。そこで、学校行事や生徒会活動等で、生徒の自発的・自治的な活動を活性化させたり、個に合った指導を徹底したりして、個々の力を最大限に発揮させ、学校全体のパワーアップを図っています。中でも、体育大会や合唱コンクール、文化発表会等は、生徒が自信と誇りをもてる活動となっており、自分たちで表現を工夫し、切磋琢磨する姿を見ることができま

す。また、吹奏楽部や合唱部、水軍太鼓部などの発表を聞く機会も多く、地域行事にも積極的に参加しています。特に「来住廃寺まつり」では、1300年前にタイムスリップしたかのような古代衣装を身にまとった中学生による火おこし神事を披露したり、威勢の良い水軍太鼓を演奏したりしています。地域社会との絆を深めることにより、生徒たちは地域の一員としての自覚をもち、コミュニケーションに貢献することの大切さを学んでいます。今後も地域と共に伝統を育みながら、活気あふれる学校づくりに取り組んでまいります。

(主幹教諭 辻井 修)

題字に寄せて

悠々自適



四国中央教育会
OB
大西 典彦

娘の名前を「悠」とした。ゆったりと落ち着いて暮らしていただくと。私も在職中、退職したら悠々自適な生活を送れるかなと思っていた。しかし、諸事情により忙しい日々が続いている。いつになったら心の赴くままに暮らせるのだろうかと思ふ時がある。

最近、自分の心のもちようがとても大切で、落ち着いてゆったりとした心構えが必要だと改心している。

昨今の教育状況も変化し、大変なところもあるだろう。だからこそ、子どもたちには自分をしっかりと、落ち着いてゆったりと日々の生活を送ってほしいと応援している。

ふるさとに生きる

発気用意



横山 功大先生

横山功大先生は、新居浜市立南中学校をスタートに、社会科の教員としてご活躍され、川東中学校の校長を最後に退職されました。

訪問者

中野 久
(新居浜教育会副会長)

退職後は、新居浜市役所や東予理容美容専門学校で、職員や学生の研修指導員等を務められました。現在も、新居浜教育会顧問として、新居浜の教育の充実にご尽力されています。その功大先生を訪問させていただきました。

功大先生と剣道の出会い
小学校低学年の頃、体が弱くて病気がちだったの
で、父に勧められて4年生から剣道を始めました。高
校生のときには、県総体で優勝し、全国大会、国体にも出場しました。苦しい稽

No.127

古のおかげで、大学の稽古もそんなに苦しいとは思いませんでした。卒業後、38年間中学校の剣道部を指導し、数回県優勝にも導きました。現在も、母校の金子小学校において、金子剣道会の子どもたちを指導しています。

発気用意とは

これは、「不発気不生力」と「不用意不成技」という言葉からきています。稽古は「やる気」でやらないと力は身に付きません。また、「考えて」稽古をしないと技は上達しません。このことを子どもたちに伝えてきました。剣道を通して心身がたくましくなり、「世のため人のために尽くす立派な人」になってほしいと思うからです。



今の部活動について
地域移行が進められていますが、もっと早くから取り組むべきだったと思います。私が若い頃には、専門外の部活動を任されて自分なりに指導法を研究し、結果を出した先生も数多くいました。最近では諸事情により難しくなっています。専門的知識・技能がある指導者が指導することは大切だと思います。

今楽しみにしていること
50年近く蘭を育てており、春蘭や寒蘭など200株ほど家にあります。北四国愛蘭会のメンバーとして展示会にも参加していま

す。蘭にも個性があり、日々研究しながら楽しんでいきます。また、漢詩にも20年ほど取り組んでいます。一緒に楽しみたい方を募集中です。

インタビュを終えて
功大(カツヒロ)先生ですが、我々は、コウダイ先生といつも呼ばせていただいています。何事にもエネルギッシュに取り組むコウダイ先生。これからもご活躍されることを願っています。

横山 功大先生(80歳)
(新居浜市一宮町在住)

東京書籍は2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)「大阪ヘルスケアパビリオン」に出展します。

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO2025

大阪・関西万博を応援しています

Osaka Healthcare Pavilion

東京書籍 東京書籍は大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」のプレミアムパートナーです。

特設サイト公開中!

東京書籍 0532-0004 大阪府淀川区西宮南1-4-10 大阪東館ビル Tel: 06-6397-1350

特集 旅・たび

旅と言え船



今治・越智教育会 OB 池田 昭二

島に生まれ、父が操船する傍らで過ごすのが好きだった私にとって、船は旅に欠かせないものでした。しかし、瀬戸内の島々に、大橋が一つまた一つ開通するごとに、私の旅のイメージも少しずつ変わっていきま

した。今から半世紀ほど前、わくわくしながら港に向かった小学校の修学旅行では、宿泊地の宮島に着くまでに、船に3回乗る必要がありました。それから12年、新規採用教員として母校に勤務し、修学旅行の引率を務めた時も、船を3回利用して宮島に到着しました。

さらに12年が過ぎ、再び生まれ育った島の小学校に勤務した時には、しまなみ海道が全通し、船に一度乗るだけで宮島に行けるようになりまし。そればかりか、山口のサファリパークや秋吉台、福岡の遊園地やドーム球場にまで足を延ばすこ

とができました。とうとう定年まで残り2年という時、新型コロナウイルス感染症の流行により、旅のイメージを変えることを余儀なくされました。

修学旅行も、子どもたちの安全・安心を最優先に考え、身近な地域のよさに触れる機会としての向きに大きく舵を切りました。その結果、私が修学旅行で船を利用することは、最後までありませんでした。

定年退職して3年目を迎えた今も、「旅と言え船」の思いは変わりません。完全に学校現場を離れた暁には、自分へのご褒美として、豪華客船で巡るクルーズに挑戦したいと思っています。

城跡を訪ねる



立海小 市立 山長 教頭 田博 臣

戦国時代が好きな私にとって、旅の目的の一つが、城跡を訪ねることです。城跡と言え、天守閣や石垣を思い浮かべる人も多いと思います

が、土塁などの縄張りや碑だけ、極端に言え、城があった証だけの城跡もよく訪ねます。かつて城があった場所に、歴史の証とロマンを感じるからです。そのためには、その城でどのような出来事があったのかを知っておくことが必須となります。中国地方を例にしましょう。尼子家の月山富田城、大内家の大内氏館跡、毛利家の吉田郡山城を訪ねました。この三つは、中国地方の有力大名の変遷と関わります。石垣が残る尼子家の月山富田城、龍福寺や枯山水の庭園、池泉などが復元されている大内家の大内氏館跡、標高約400mに本丸跡が残る毛利家の吉田郡山城とそれぞれに趣が違い、それぞれの大名の特徴を感じ取れます。

さて、好きな戦国武将はいますか？私は、三好長慶と北条氏康です。この二人の武将が天下を治めるためには何か足りなかったのだと思います。最近になって、本やテレビで取り上げられることが多くなり、密かに喜んでいいる私がい。二人に関わる城跡は、三好家の勝瑞城しか訪ねることができていません。今後は、三好家の飯盛山城、北条家の小田原城や河越城等を訪ねたいと思っています。

旅の目的は、人それぞれだと思います。私は、城跡とその地のおいしいものや温泉です。最後に、絶対に行きたい城跡として、五稜郭を挙げて、終わりとなります。

★ えひめの先生方によって 建てられた会館です。 ★ 会議・研修・宿泊にご利用ください。

エスポワール 愛媛文教会館



TEL (089) 945-8644 FAX (089) 932-0380



洋服の青山カード会員 ご入会のおすすめ

愛媛県学校生活協同組合連合会では、洋服の青山と提携店契約を結んでおります。

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会 電話(089)925-0555 または 郡市学校生活協同組合



学校生協組合員価格として、店頭価格より10%の割引が適用されます。

山への憧れ



八幡浜教育会 OB
河野 美子

一度は行ってみたいと思っていた憧れの山々。これまでそれほど高い山に登った経験も、山に登る体力もないのですが、山への憧れ、山に登る人への憧れがあり、その憧れに近づきたいと思い、今年の夏はアルプス五大名峰を巡る旅に出かけました。

1日目はケーブルカーで約3千メートルのディアボレッツァ展望台に上り、約4千メートルのピッツベールニナや目の前に広がる氷河を見ることができました。

2日目はサンモリッツから氷河特急とバスを乗り継いで、「アルプスの真珠」とよばれるサースフェーへ。ここからは4千メートル級の山々が連なるミシャベルアルプスのダイナミックな白銀の世界を満喫しました。

3日目はツエルマットから登山鉄道でゴルナーグラート展望台へ。車窓からは4千メートル級の山々を望むことができ、中でも孤高の名峰マッターホルンは勇壮で美しく、その姿に圧倒されました。

その後、アルプスの最高峰モンブランを、そして、ユングフラウ三山を巡り、圧巻のアルプス五大名峰の旅を終えました。その間、本場のチーズフォンデュやスイスワインも楽しみました。

人智を超えて悠然と存在する憧れの山々。その魅力を語り尽くすことはできませんが、山は本当に美しく、自然の雄大さと厳しさを全身で感じることでできる旅でした。

旅と心と胃袋と



小松一本立町立南愛
校長 校 長
片山 新也

私が小学生の頃、自家用車はな

く、隣町へ行くのに、畦道を自転車で通って駅まで行き、電車に乗ってやっと到着したものでした。それ故に、隣町に行くことが、私にとって旅でした。隣町に着くと、決まって食べていたものがラーメンとおでんでした。わりと人気の店で、同級生の間では、その店のメニューで盛り上がるほどの店でした。

時々、隣町より遠くの町まで電車に揺られて出掛けることがありました。父は決まって缶ビールを買いました。そして、つまみのゆで卵を分けてもらうのが楽しみでした。ある時は、駅弁や立ち食いうどんを買ってもらうこともありました。私にとっては、どこに行っても何をやるかという旅の目的よりも、何を食べるかという楽しみの方が勝っていました。

今から35年前、私が愛南町に赴任した時の楽しみは、くろしお鉄道の旅でした。その頃、始発は宿毛駅ではなく、中村駅でした。駅弁を買って汽車に乗り込み、とりあえず高知市方面に向かって車窓に目をやるのが、休日の楽しみでした。ふと降り

た駅で次の汽車を待つ間、太平洋を眺めたり、出会った方とおしゃべりしたりするのが最高の時間でした。出会った方から、「津波が来たら、海の底の砂地が見える。」、「石の上にも三年。仕事は、辛抱。」と、教えられました。旅は、心も胃袋も満たしてくれるものです。



ご冥福をお祈りします

宇都宮哲男様	99歳	西予市三瓶町津布理	6・9・10
織田 淑子様	92歳	西予市三瓶町蔵貫浦	6・9・16
森 良輔様	89歳	東温市上林甲	6・9・26
山根 義徳様	95歳	大洲市市木壱	6・10・1
門田 文夫様	85歳	今治市北日吉町三丁目	6・10・12
井手窪 理様	84歳	伊予市中山町出淵	6・10・13

文教俳句

一俳句ポストより一

台風に荒れる予定や伊予の旅	茨城県	新田 牧
原爆忌語り部の夢未来へと	松山市	池田 容子
郵便配達夫待つ風蘭の蕾	松山市	池田 容子
いい宿に出合う残暑の伊予の旅	兵庫県	寺田 裕哉

教育の振興を目指す!

弘の3大事業

- 教育振興事業 (奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)
- 福祉事業
- 経済事業 (提携保険事業)

公益財団法人 **日本教育公務員弘済会愛媛支部**

〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内
TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

第75回日本連合教育会研究大会愛媛大会 大会印象記1

第1分科会【教育課程】

松山市立南中学校

校長 日野 省吾

第2分科会【学習指導】

伊方町立三崎中学校

校長 野村 雅英

第3分科会【道徳教育】

鬼北町立好藤小学校

校長 加藤 正人

第4分科会【人権教育】

松前町立松前小学校

教諭 坂本 洋恵

第5分科会【特別支援教育】

西条市立植瑞小学校

教頭 玉井 淳

今回の研究大会ではハイブリッド方式が採用され、私は第1分科会にリモートで参加させていただいた。「学校の教育ビジョンに基づく教育課程の創出」を研究協議題とし、滋賀県教育会からはカリキュラム・マネジメントの実践、本県からは社会に開かれた教育課程の実践について提案発表が行われた。その後、「社会に開かれた教育課程の編成と実施」と「カリキュラム・マネジメントによる教育活動の質の向上」の二つの視点で研究協議が行われた。参加した先生方から「小中連携」「地域連携」について様々な取組や意見がいただけた。最後に学校の「強み」と「弱み」を見つ

第2分科会では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す授業の「創造」を研究協議題として三つの提案発表があった。富山県教育会から、「小・中・高の連携から生まれる協働的な学び」と題し、異校種間の協働学習について提案があった。豆の栽培から環境教育まで発展させ、異校種での協働、対話、個々の学びのある提案であった。香川県教育会から、「生きて働く力を育む国語教室」と題し、主に「読む力」に焦点をあてた提案であった。習得した力の可視化や比較読みなど、個に応じた学習指導の実践がある提案であった。

第3分科会では、「よりよく生きるための基礎となる道徳性を養う道徳教育の推進」を研究協議題として、3校の特色ある提案発表が行われた。呉市立広南小学校の取組では、小中一体での道徳教育の推進体制の下、9年間の議論する姿を示したシートの活用や伝え方・聞き方の細やかな指導を行い、児童生徒の考え議論する力の育成が図られていた。山口市立平川中学校の取組では、地域参加型の道徳研究を推進し、議論の中に大人の視点が示された地域の方との交流を深めたりし、多角的・多面的に考える態度や自己肯定感の育成が図られていた。松山市立桑原小学校の取組では、教材の価値分析や中心発問、評価の仕方等の具体的な指導法や自己を見つめる活動の工夫が詳しく紹介された。

第4分科会では、「人権尊重の理念への理解を深め、主體的に取り組む人権教育の推進」を研究協議題として、三つの提案があった。茨城県教育会発表校の研究主題は、「認め合い高め合うことができる児童の育成」であった。教員と児童の言語環境を整えて「授業づくり・人間関係づくり」環境づくり」を行うことで、児童の自己有用感を高めることにつなげていた。長崎県教育会発表校の研究主題は、「日々の意図的な活動の継続による人権・平和教育の充実」であった。教職員の意識の転換に向けて継承されてきた平和祈念式の目的や達成目標の再確認から、目指す学校の姿の具現化へ向けた学校経営の事例であった。

第5分科会では、「一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実」を研究協議題として、三つの提案発表が行われた。まず、栃木県連合教育会からの発表では、特別支援教育に係る教師の資質・能力の向上を目指した研修や、授業の組み立てを整理した「今泉モデル」を基にした授業改善の取組について報告があった。

「強み」と「弱み」を見つけること、よりよいものへと変えること、組織としての力を最大限につなぐことが大切とご指導いただいた。今回ハイブリッド方式の研究にしていたこと、多くの先生方とつながれたことが成果であった。運営していただいた全ての皆様方へ心から感謝申し上げます。

その後の協議では、異校種間の協働学習が話題の中心となった。今後、異校種交流が協働的な学びのスタンダードになるかもしれない。そんな思いがした第2分科会であった。

3校とも各校がもつ強みを生かし、「主體的・対話的で深い学び」を実現する道徳教育が行われていた。得られた多くのアイデアを自校の実態に即した形で取り入れ、道徳教育の充実を図っていききたい。

愛媛県教育会発表校の研究主題は、「人権尊重の精神を基盤に、人を大切に生きる方を目指して」であった。全教職員が意識統一し、学習指導や生徒指導など全ての教育活動の中で、人権・同和教育の精神を大切に実践を重ねること、グループ協議では、各校の実践について情報交換が行われた。提案発表とともに、自身の人権教育を振り返る大変有意義な会となった。

最後に、愛媛県教育会からは、自己理解や帰属意識をポイントにした自尊感情の育成や、ソーシャルスキルトレーニングの実践についての発表があった。三つの発表を聞き、教職員の特別支援教育に対する理解や専門性の向上と共有化を図り、多様化する児童生徒の教育的ニーズに応えていく必要性を強く感じ

た。最後に、愛媛県教育会からは、自己理解や帰属意識をポイントにした自尊感情の育成や、ソーシャルスキルトレーニングの実践についての発表があった。三つの発表を聞き、教職員の特別支援教育に対する理解や専門性の向上と共有化を図り、多様化する児童生徒の教育的ニーズに応えていく必要性を強く感じ

た。最後に、愛媛県教育会からは、自己理解や帰属意識をポイントにした自尊感情の育成や、ソーシャルスキルトレーニングの実践についての発表があった。三つの発表を聞き、教職員の特別支援教育に対する理解や専門性の向上と共有化を図り、多様化する児童生徒の教育的ニーズに応えていく必要性を強く感じ

た。最後に、愛媛県教育会からは、自己理解や帰属意識をポイントにした自尊感情の育成や、ソーシャルスキルトレーニングの実践についての発表があった。三つの発表を聞き、教職員の特別支援教育に対する理解や専門性の向上と共有化を図り、多様化する児童生徒の教育的ニーズに応えていく必要性を強く感じ

た。最後に、愛媛県教育会からは、自己理解や帰属意識をポイントにした自尊感情の育成や、ソーシャルスキルトレーニングの実践についての発表があった。三つの発表を聞き、教職員の特別支援教育に対する理解や専門性の向上と共有化を図り、多様化する児童生徒の教育的ニーズに応えていく必要性を強く感じ

た。最後に、愛媛県教育会からは、自己理解や帰属意識をポイントにした自尊感情の育成や、ソーシャルスキルトレーニングの実践についての発表があった。三つの発表を聞き、教職員の特別支援教育に対する理解や専門性の向上と共有化を図り、多様化する児童生徒の教育的ニーズに応えていく必要性を強く感じ

第75回日本連合教育会研究大会愛媛大会 大会印象記②

第6分科会【幼児教育】

宇和島市立宇和津幼稚園

前園長 山村 由美

第6分科会では、「未来を切り拓く力を育む幼児教育の充実」を研究協議題として、二つの提案発表が行われた。

東京都教育会からは、練馬区立北大泉幼稚園の取組が「多様な人との関わりの中で育ち合う幼稚園を目指して」つながりを生み出す環境の工夫を考える」を研究主題に発表された。環境を「物・場・人・時」の四視点でとらえ、保育環境の見直しを図ることがよりよい援助につながっていくことを再認識した。

愛媛県教育会からは、四国中央市立土居東幼稚園の取組が「生き生きと遊び学ぶ幼児の育成」豊かな生活体験を通して」を研究主題に発表された。幼児のひらめきやつぶやきを環境構成に生かし、機を逃さず丁寧に保育されている実践が印象的だった。

生涯に渡る人格形成の基礎を培う幼児期の教育を充実させるため、教師の援助や環境構成の在り方について再考するよい機会となった。今後、日々の実践を重ねていきたい。

第7分科会【学校・家庭・地域の連携】シンポジウム

上浮穴教育会

事務局長 福井 隆也

第7分科会は、「未来を担う子供たちを育成するため」の学校・家庭・地域の連携」を研究協議題として、3本の提案を基にシンポジウム形式で行われた。

松本市立開智小学校からは、地域を教材化し、児童の主体性と探究心を大切にした探究的な学びを展開することで、学校と地域の連携が深まっていくという取組が紹介された。

宇和島市立津島中学校からは、生徒が学校運営協議会に参加し、学校や地域の課題について熟議を重ねる取組が紹介された。生徒が当事者として加わることの効果は絶大であり、学校運営協議会のもち方について提言された。

最後に伊予市立佐礼谷小学校での実践として、児童の社会貢献力を培う教育の推進が紹介された。子どもは、地域づくりの主体者であり、子どもの活動が地域の教育力を高める原動力になり得ると感じた。

これら3本の提案から、学校・家庭・地域の連携により「よりよい学校教育が、よりよい社会を創る」という理念を再認識した。

ローカル。ピックス

小田のたらいうどん

たらいうどんは、内子町小田地区に伝わるうどんです。たらいに入れて提供されるだけでなく、独特のうどんとつゆも特徴です。うどんはとてもやわらかく、力を加減して持ち上げないとすぐに切れるほどです。つゆは、大豆やいりこ、椎茸などからとっただしで



作られ、優しい味です。つゆの中には、大豆や椎茸がそのまま入っており、すりおろした胡麻や生姜だけでなく、刻んだにらを薬味にするのも特徴です。昔、小田深山に鷹狩りに来た大洲の殿様が気に入り、その名前が「小田の手打ちうどん」だと聞いたので、城に戻ってから「今日は手打ちじゃ、手打ちにするぞ」と度々言い、「手打ち(斬り殺すこと)」だと勘違いした家来が震え上がったという昔話が残っています。

紅葉の美しい季節です。小田深山を散策し、たらいうどんを食べに、内子町を訪れてみませんか。

(愛媛文教月報編集協力委員 岡田 拓也)

祝 受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

一色 康範様	88歳	元新居浜市立高津小学校校長	新居浜市
近藤 朝男様	88歳	元新居浜市立角野小学校校長	新居浜市
高月 昌幸様	88歳	元松山市立南第二中学校校長	松山市
手塚 尚文様	88歳	元今治市立西中学校校長	今治市
橋本 怜様	88歳	元伊予市立北山崎小学校校長	伊予市
村井 功様	88歳	元松山市立余土小学校校長	松山市
村井 義昭様	88歳	元伊予市立港南中学校校長	伊予市
矢野 重明様	88歳	元野村町立野村小学校校長	西予市

ヒマラヤ スポーツ お得なご案内

組合員様向けチケットを精算時にご提示いただくと
店頭表示価格から5%OFFになります。ウインタースポーツやジョギング用品の購入に是非ご利用ください!

本券をご精算前にレシートでご提示ください
店舗で精算時より

5%OFF

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 郡市学校生活協同組合

感激の美に出会う

道後温泉駅から歩いて5分、閑静な住宅街に佇む美術館です。日本近代画壇を代表する画家たちの優品、日本画では横山大観・加山又造、洋画では小磯良平を中心とした絵画、そしてロダンの大理石彫刻《ファウナ(森の妖精)》など500点を所蔵しています。四季に合わせた展示で、地域の皆さまをはじめ道後を訪れる方々に心豊かなひとときを提供いたします。

〒790-0848 愛媛県松山市道後客多町4-42
TEL.089-946-5678 www.seki.co.jp/mus/

観覧時間: 水曜日-日曜日 10時-17時(入館は閉館の30分前まで)

セキ美術館
SEKI ART GALLERY

上村 松園(紗くみの図)

第75回日本連合教育会研究大会愛媛大会 記念講演要旨

演題

「不透明な時代を生き抜く力を子供たちへ 藤岡弘、生き様を語る」

講師

俳優・武道家 藤岡 弘、氏

報告者

松山市立伊台小学校
校長 山本 美喜

一 生い立ちと父母の教え

1946年、久万高原町、当時の明神村で、警察官であった父の転勤の関係で、駐在所で生を受けた。カルスト台地のすばらしい自然の中で幼少期を過ごし、今考えると、自分の身体能力、そして、内面から湧き出る感性、あらゆるものが大自然の中で培われたものではないかと感じている。

波乱万丈の中、親の深い愛情で生かされ、父からは厳しく武道と武士道精神で鍛えられ「歴史を学べ。本を読め。実際に体験をしろ。学問と実践は表裏一体である」「世の為、人の為に生きよ」と教わった。母からは「我慢すること、耐えること、自己を修めなさい」と教わった。

二 様々な人との出会い
高校の柔道部の恩師は「時を待て。今がお前の心を育て、強さを育てる。必ずチャンスがくる。それまでに備えろ。時を待て」と私を押し出してくれた。その恩師からは親の愛を感じ、その愛は私の心に伝わり、東京で、芸能界で生きていく思いを強くさせた。様々な人に導かれ、出会いにより自分の人生も運勢も歴史も変わっていった。

仮面ライダーや大河ドラマの主演、そして、日本に

とどまらず国際俳優としてハリウッド映画の主演を努力の上、実力で勝ち取り、不撓不屈の精神で挑み続けた人生である。なお、今も挑戦の旅は続いている。恩ある人との出会いによってボランティアも挑戦の一つ。多くの人からの恩によって、今自分があるという感謝を決して忘れない。四人の自分の子供たちにも愛と尊敬と感謝と何事も諦めず、やり抜け、挑み続けよと教えている。今、私の四人の子供たちの夢は、ハリウッドである。

三 先生方をお願いしたいこと

日本人は、世界の中でもまれに見る、心情文化を大事にする家族主義的民族である。世界が変わっていく中で、未来を生きるこの子供たちの人生において、先生方一人一人に大変な使命があり、人生を左右する程の影響を与え、子供たちの基礎、土台を作り、やりがい、生きがいをもって取



内子町立内子小学校
教諭 青木 桃子

ふるさとスケッチ No.481

ふるさと城川

り組むべき日本の命運がかかっているということをお忘れないでほしい。
皆さんは素晴らしい経験や知識をもっていらっしゃるが、子供との対話は重要である。私自身も百か国近くに住む世界の様々な旅での実体験で、難民や子供から学ばせてもらって子供に育てられた。親の気持ちになって一人一人の子供と真剣に向き合っていく。これが大

事。「子供たちに自信と誇りをもう一度取り戻す」そういう教えをお願いしたい。この日本のすばらしさを、伝統と民族力、人間力をもっともつと子供たちに伝えていただくことを願う次第である。
どうか、未来をつくる日本の宝である子供たちをお願いいたします。ありがとうございました。
もう帰らないと覚悟を決めて旅立ったはずが、まさか4年で故郷に戻るとは。やっぱり城川が好きで、何の変哲もない風景にも私のお気に入りだ。川向かいの草原には野いちごと彼岸花。水田でのおたまじやくし観察と四つ葉探し。夜の一面の星。中でも一番のお気に入りには春です。桜と新緑に包まれて眺める故郷ほど温かいものはありません。そんな春の城川に思いを寄せ、桜の隙間から風景を描きました。